

## 祝 辞

愛媛県俳句協会会長 相原左義長

第3回えひめスポーツ俳句大賞が、応募句数一般3550、ジュニアの部3610、合わせて7160句に達し、第2回を大幅増となった。それにはいろいろ理由はあるが、第一に上げられることは事務当局の熱意と努力のたまものである、第2に、3回にしてようやく「愛媛」の意志が全国に通じたことになろう。即ち、加戸知事の「スポーツ立県えひめ」の精神が全国に受け入れられたことになり、よろこばしい限りである。

今年の選考委員会で特に問題となったのは、地元愛媛が一般・ジュニアともにダントツに応募数が多いので、何とか賞の部で一考すべきではないかと言うこととなり、オリンピックにちなんで、四年に一度特別賞を考えたかどうかと言うことで、事務当局で検討することとなった。またジュニアの部の受賞者を表彰式に出席が可能となるよう配慮して行きたい等々、一般・ジュニアの部ともに受賞式に対する配慮が一段と強くさげられたことが今年の選考委員会の特徴となったと言っても過言ではなからう。

特にジュニアの部の作品に対し高い評価があったこと、回を重ねる度に、えひめスポーツ俳句大賞が益々発展するにふさわしい発言が出されたことは大変うれしい選考委員だったと意を強くした次第です。

今後益々の発展を祈ります。